

尿道ブジーを受けられる患者様へ

秋田大学医学部 泌尿器科

尿道外傷、尿道炎、手術後などに(まれに先天的)尿道が硬く針穴のように狭くなった状態を尿道狭窄と言います。尿道狭窄の治療は内視鏡手術が中心ですが、治療後も再度狭くなることしばしばあり、難治性の疾患です。このような患者さんには、尿道ブジーで定期的に尿道を拡張する必要があります。また急に尿が出せなくなった患者さんや手術の際は、尿道カテーテル(尿を出す管)を入れる必要がありますが、その際尿道が狭い場合に尿道ブジーをおこないます。

治療内容

- 治療時間は 30 分程度です。
- 治療施行時は痛みを伴いますが、多くの場合は尿道麻酔のみでも可能です。痛みが強い場合は仙骨麻酔を行うこともあります。
- 金属でできた棒状の道具を、細いものから太いものに順番に尿道に挿入し、徐々に拡張します。
- 以下のような場合には尿道ブジーができない場合があります。
 - 1) 尿道の変形が著しく尿道に入れた金属の棒が正しい位置に入らない場合。
 - 2) 患者さんの状態により治療に十分な体位や静止ができない場合(このような場合には後日再度治療を行うか、別の治療を行う必要があります)。

治療の合併症

- 1) 血尿:軽度の血尿はすべての方にみられます。通常は問題ありませんが、程度が強い場合は止血剤の投与や追加の処置が必要になることがあります。
- 2) 周囲臓器の損傷:治療時の操作により尿道、前立腺、膀胱、腸管に傷がつくことがあり、程度により入院の必要性があります。また重篤な場合には追加の処置や開腹手術を行うことがあります。このような場合は稀です。
- 3) 感染症:治療後、細菌感染により発熱、排尿痛、陰嚢内容の疼痛などが生じることがあり、必要に応じて抗生剤の投与(内服もしくは点滴)することがあります。症状が強い場合には入院の可能性がります。
- 4) 排尿困難、排尿痛、尿失禁:尿道ブジーを行ってから、数日から数週間持続することがあります。ほとんどの場合1週間程度でよくなります。

年 月 日

上記について説明を行いました。

氏名

上記について説明を受けました。

氏名